

編集後記

今回が第13回となる日韓大学生国際交流セミナー。本報告書には、夏の2か月間の時間を韓国の協定校である釜山外国語大学校で過ごした実習生の生の声が詰まっている。実習生それぞれの立場や経験、目標とするもの、また成果として挙げているものはもちろん異なるが、実習のみならず、海外または母国へ新しい視点を持って飛び込んでいくことで得られたものは多いのではないだろうか。

特に本プログラムの軸となる複言語・複文化主義、釜山外国語大学の特徴である CAN-DO ステートメントに基づいた実習というのは、このプログラムならではのものであり、実習生の多くが迷いや戸惑い、そして期待などさまざまな気持ちを経て、大きな学びとして挙げている。修了レポートを読んでいると、実習生が何を学び、どのように成長していったかを知ることができる。

この報告書も、多くの方のご尽力によって発行に至った。実習と報告書作成に関わった全ての方に心から感謝を申し上げ、編集後記としたい。
(森山)

～複言語・複文化教育と東アジア共生の可能性 2～

～第13回 日韓大学生国際交流セミナー報告書～

発行年月日 2019年1月31日

発行 お茶の水女子大学日本語教育コース・グローバル文化学環・国際教育センター

住所 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

電話&FAX 03-5978-5691

<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/>

発行協力 釜山外国語大学校

住所 〒462-34 釜山広域市金井区金泉路485-65

編集 森山新・野村琴菜・成歆（お茶の水女子大学）

印刷 よしみ工産株式会社